



本年度は学校公開が4回になり、保護者の方が子供たちの学ぶ姿に触れる機会が少なくなりました。そこで、日頃の授業の様子などをお伝えしようと、このお便りを発行することにしました。不定期刊行となります。ご容赦ください。

「授業で自分は種を蒔いているんです」…本校の教員がつぶやいた言葉です。とてもステキな言葉なのでタイトルにしました。英訳すると「Sowing seeds」となりますが、調べてみると続けて次のような説明もありました。
～比喩的には「未来の成功や成果のための基盤を作る」や「新たなアイデアや考えを広める」といったニュアンスで使われます～
日々の授業が子供たちの未来を明るくするためのきっかけづくりになること…そんな思いで毎日の学習を進めています。



令和6年度校内研究テーマ

「見方・考え方を働かせて自分の考えを深められる児童の育成」

教員は、毎年研究テーマを掲げ、研究授業を行い、その授業内容などを検証しています。

本年度はすでに2回の研究授業が行われましたので、その様子をお伝えします。

2年1組生活科「まちが大すきたんけんたい」(5月24日)

2年生の生活科では、自分たちの町についての理解を深め、親しみと愛着をもつことを目指しています。今回はあらかじめお出かけをして訪れた場所や家の近くの中から自分のお気に入りの友達に紹介する授業を行いました。

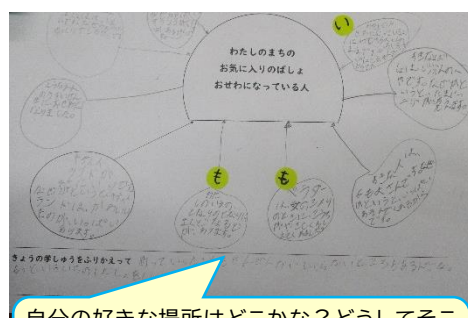
普段何気なく行く場所も改めてみんなで行くと新鮮に見えてきます。「お気に入りの友達を紹介する」という目的をもっともっと違った景色になります。

これまで行った場所を写真で振り返りながら、自分の「お気に入りポイント」をワークシートにたくさん書きこみました。

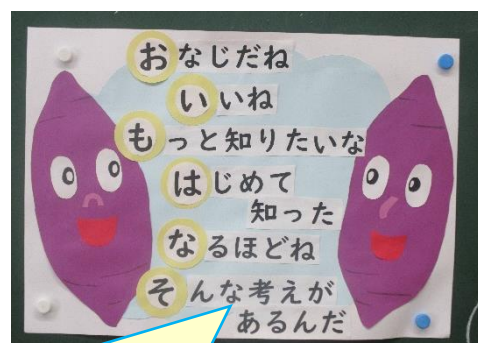
この授業では、子供たちの対話をより豊かにするために二つの仕掛けを取り入れました。「おいもはなそ」と「観覧車」トークです。



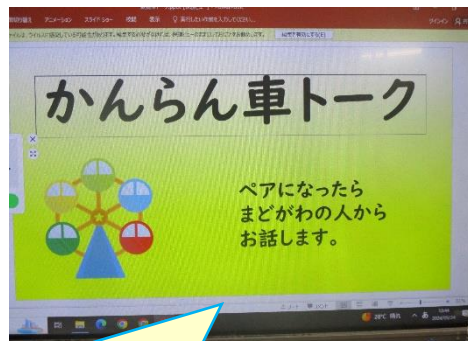
自分たちの住むまちを地図で確認することは、2年生にとっては新しい学びです。位置関係などの感覚をつかんでいきます。



自分の好きな場所はどこかな？どうしてそこが好きなかな？をたくさん書き込みます。しっかり書くと自分の考えがまとまります。



今回の目玉！「おいもはなそ」。友達との対話の中で、こんなやりとりができると素敵です。もっと話したくなります。



話す相手を変えながら、複数のお友達とお話をします。いろいろな反応が返ってきて、お話することが楽しくなります。



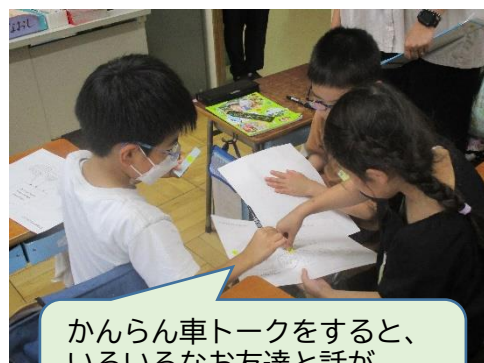
なるほど~と思ったよ。だから㊦のシールを貼るね。

子供たちは、友達の話をして「いいね」「もっと知りたいな」とリアクションしながら聴いていました。ワークシートには㊤や㊦のシールを貼っていきます。シールはお友達としっかり対話できたという印です。このような仕掛けをしながら、子供同士の対話を促すことがねらいです。対話を通して新しい気づきや興味をもち学びを広げていくこと目指しています。子供たちは友達からシールをもらって満足そうでした。

「おもはなそ」は、他の授業の中でもたくさん出てきます。道徳の授業の中も、友

達の発表に対して誰かが「なるほどね」とつぶやくと、「あ！『おもはなそ』が出てきたね」と気づき、手を挙げる子が増えていきます。自分の話をみんながちゃんと聞いてくれるという安心感は、「発表しよう」という意欲につながります。

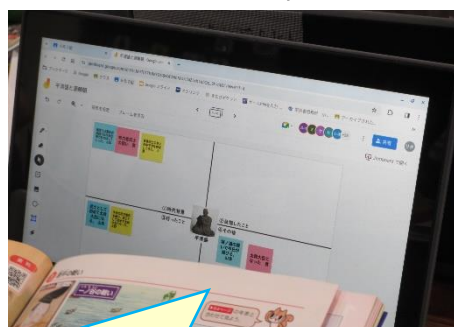
自分の意見をしっかり伝えながら、みんなで考え、答えを見出すことができる力をつけていってほしいと思います。



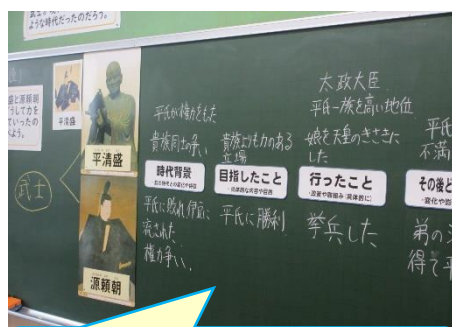
かんらん車トークをすると、いろいろなお友達と話ができるね！

6年2組社会科「武士の政治が始まる」（6月28日）

6年生の社会科では、歴史的な事象から時代の展開を捉え、歴史を学ぶ意味を考えていきます。今回はタブレットを活用し、子供たちが自ら情報を集め友達と共有していきながら考えをまとめている授業を行いました。



一つの画面上にみんなで付箋を貼っていきます。どんどんと情報がたまっていくのが目で見て分かります。



子供たちの集めた情報を黒板に整理していきます。ICTと黒板の併用です。授業もハイブリット化しています。

小学校の歴史の授業では、人物や文化遺産に注目し、その背景や関係性を学びながら理解を深めていきます。

今回の授業では、「平清盛と源頼朝はどうして力をつけていったのか調べよう」というめあてのグループによる調べ学習でした。



担任は、子供たちの状況を画面上で確認できます。どんなことを調べているのが集約しながら、授業の流れを想定していきます。



最後にまとめの発表をします。みんなの集めた情報を整理して話す内容は、それぞれの視点での要約となり、全体の理解の深まりにつながります。

はじめの担任からの説明の後には、子供たちはほとんどの時間、タブレットと資料に向き合い、それぞれの人物について調べました。分かったことはタブレットの付箋機能を使ってどんどん貼り付けていきます。グループでの共同作業なので画面上にたくさんの付箋がたまっていきます。

タブレットの画面を見ると、友達が何を調べているのか分かります。子供たちはそれらを確認しながら、自分の調べ学習を進めることができます。ICTを使った協働学習です。

教員が一つずつ説明しながら進める学習の形もありますが、今回のように子供たちが自分たちの力で情報を獲得し、それを仲間と共有し、それぞれの人物像の概要を捉えていくという学び方もあります。子供たちの力を信じて任せて受けとめながら、教員は授業を進めます。

タブレットの配備は子供たちの学びを受動的なものから能動的なものへ変えています。高学年になるとその学習範囲はどんどん広がります。その広がりには時にめあてから離れてしまったり、時間が足りなくなったりすることもあります。が、「自分で学ぶ力」をつけるためには必要な過程だと考えます。今回の授業でも情報収集量や理解度には個人差が見られましたが、「歴史を面白いと思えた子」は増えているという様子が分かりました。



そのサイト、いいね。分かりやすい情報がのってるね。

資料集で気になったところをインターネットで検索してみよう。



授業後、子供たちにインタビューすると「今日の授業はおもしろかった」「すごくたくさん調べることができて勉強になった」「発表は緊張したけど、みんなで

調べたことをまとめて伝えられたと思う」という感想がありました。

この授業で経験したスキルが、大人になった時に生かされるといいなという思いで授業を進めています。

このように、本校では各学年が1回ずつ研究授業を行い、子供たちの学ぶ力・生きる力を伸ばすための協議をしています。元大学教授の講師も招き、これからの指導の在り方についても学んでいます。今後も様々な場面において、子供たちの学ぶ様子と、その変容をお知らせしようと思います。ご家庭でもお子さんが今どんな学び方をしているかなど、関心をもっていいただければ幸いです。



研究授業後の教員による協議の様子

※裏面はダンス教室の様子です※

Wood Pecker によるダンスパフォーマンス&ダンス教室レポ

東京都教育委員会の取り組みによる、多様な体験活動の機会を提供する授業が行われました。

本年度は、ダンスの体験です。豊かな心の育成につながることを目的としたこの事業。大変盛り上がりました！

世界的な大会での上位入賞経験やテレビ出演などの実績のあるウッドペッカーさん。オープニングでは圧巻のパフォーマンスを披露してくださいました。

子供たちの感想は「キレッキレでかっこいい」「この世のものとは思えない」等、すっかり圧倒された様子。司会の方が言うには、他校ではあまりのすごさに固まってしまう子もいたそうですが、田二小の子供たちはそんなことはありません。大好きなアニメソングにノリノリ。自然と手拍子と歓声が起こりました。



みんなの動きが
そろっていてすごい！



ダンス教室では、みんなで振りを覚えていきます。プロのみなさんは教え方もお上手です。アツという間に、みんな踊れるようになりました。

「ステージの上で踊りたい人～！」の呼びかけに、多くの子が手を挙げていました。おかげで舞台上は満員。

みんな覚えたばかりの振り付けを楽しそうに踊っていました。



1～3年生と、4～6年生の2回に分けて行った中で、みんなで同じダンスを踊れるようになりました。曲がかかれば自然と体が動き出すことと思います。

4～6年生の回では、最後に先生方のダンス披露の時間もあり、担任の先生方がみんなで踊りました。この日一番の盛り上がりになりました。

ダンスは踊る人も見ている人も自然と笑顔になります。今回はアツという間の45分でしたが、とても充実感のある時間になりました。

子供たちはみんな「楽しかった～」「もっとやりたい」などと言っていました。

プロのすごさ、踊る楽しさを感じた子供たち・今回の経験がずっと心に残る子もいるかもしれません。幼いころの体験活動はとても大切だと思います。

2学期の体育発表会や学習発表会で今回の経験が何かのヒントになるといいな、と思います。



※個人情報保護のため写真の一部を加工しています。